



## 令和3年度 第45回 卒業証書授与式

～厳粛で心温まる卒業証書授与式～ 206名が巣立ちました

3月1日(火)、本校体育館において、令和3年度第45回卒業証書授与式が挙行されました。

卒業生206名が、保護者の方々・PTA会長の近藤様・生徒会役員・教職員等に見送られ、和歌山東高校を卒業しました。式典は、コロナウイルス感染防止の観点から時間短縮で行われましたが、**厳粛で心温まる卒業式**となりました。



式典では、市川貴英校長より各クラス代表生徒に卒業証書が授与されました。また、学校長の式辞では「和歌山東高校の校訓である『自主・自律・敬愛』」「成年年齢が18歳に引き下げられることと、それに伴う生活の変化や責任の重さ」「感謝の気持ちを持つことの大切さ」等について語られました。

また、杉山颯太君(3C)より卒業記念寄付目録の贈呈、在校生代表の生徒会長の武林柚さん(2F)より送辞、卒業生代表の堀田大雅君(3D)、高田陽向君(3C)より答辞が述べられました。

それぞれの思い出や決意を胸に巣立つ卒業生の表情は晴れやかで、頼もしさを感じました。

別々の道を歩む卒業生の皆さんに幸多かれ！ **頑張れ、和歌山東高校卒業生！！**



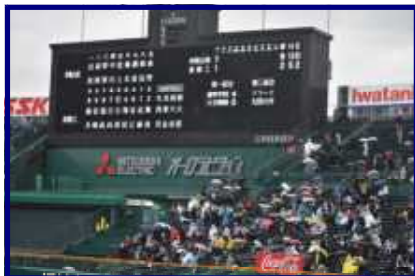
## 夢の舞台 甲子園 「魂の野球」が新しい歴史をつくる

～和歌山東高校の校歌が甲子園に響き渡る～

雨天のため、一日順延となり、3月19日(土)に甲子園開会式と初戦。開会式では観客が見守る中、和歌山東高校のメンバーは堂々として行進しました。開会式に行進できるのは、この日試合のある6校のみです。思い出深い貴重な経験となりました。

そして、**1回戦の倉敷工(岡山)戦**は、雨の降る中、緊迫した接戦となりました。延長11回を戦い抜き、見事8-2で選抜初勝利をつかみました。

アルプススタンドでは、和歌山商業高校の吹奏楽部の協力応援で「**青のプライド**」が響き渡りました。「**青**」は和歌山東高校のスクールカラーです。本校硬式野球部の南佳詞部長が奔走し、関係者の許可を得て、甲子園の「チャンステーマ」として演奏することができました。延長11回の攻撃では、この「青のプライド」が全打者に対して演奏され、連続ヒット、一挙7点を呼び込みました。  
**和歌山商業高校のみなさん、ありがとうございました。**



また、米原寿秀監督の采配も「**猫の目起用**」として大きく取り上げられました。グラウンドのいろいろな守備位置に麻田一誠君(2D)が顔を出しました。相手打者の目先を変えて失点を防ぐ作戦が功を奏し、初戦勝利を飾りました。試合後には、「どのポジションでも絶対にさばいてやろうという気持ちでした。」と麻田君は強い気持ちを語りました。和歌山東高校の新しい歴史が刻まれました。

また、3月24日(木)、目標であるベスト8をかけ、**2回戦の浦和学院(埼玉)戦**が行われました。随所にファインプレーが見られるなど、「魂」を込めて戦いましたが、残念ながら0-7で敗れました。しかし、気持ちを込めて最後まで戦い抜き、「魂の野球」は甲子園に確かな足跡を残しました。この経験を糧に、また夏に甲子園に戻ってきたいです。 **温かい応援有難うございました！**